



読書の秋。今年は11月に入ったのに暑く感じる日が多く、秋はどこに行ってしまったのかと寂しく感じています。しかし日が暮れるのが早くなり、よい子のチャイムが16:30に鳴るようになったので、きっともう秋なのでしょう。

毎週月曜日と長期休業中は、図書室での活動になります。KIDS ルームでは読書の時間を設けていますが、一人で黙々と読む子もいれば、友達とわいわい話し合いながら読む子もいたり、そのスタイルは様々です。

どちらも読書の楽しみ方として素晴らしいものだと感じます。それぞれの楽しみ方を見つけて、読書の秋を堪能して欲しいです。



今月の一冊



「あきのおわりのてんこうせい」
作：ジャン-リュック・アングルベール 訳：はしづめちよこ
出版社：イマジネーション・プラス

秋の終わりの日、子グマは冬眠前に大好きな森をお散歩していました。お散歩中に見つけた「いいもの」を頭に被り、森の端までやってくると沢山の子どもたちが見えます。

子どもたちは近付いてきた子グマを転校生だと勘違い。

子グマが被っていた「いいもの」は、子どもたちとお揃いの制帽だったので。

子グマは子どもたちに連れられて一緒に授業を受けることになり・・・子グマに優しく接する子どもたち、その優しさを感じ取る子グマ、可愛らしく微笑ましい彼らの姿は、読み手の気持ちも暖かくしてくれます。

お知らせ

☆下記の日程はお休みです。お子様にもお伝えください。

11月3日（文化の日） 11月9日（校内研究会） 11月23日（勤労感謝の日）

☆生活科室で読む本を2冊まで持参可能です。